令和2年度 財政状況資料集

総括集(市町村)

41-C- 11	古表 (市)	111/						45 do 00 44 66	a de de de ve		区分	令和2年度(千円)	令和元年度(千円)	区分		令和2年度(千円·%)	令和元年度(千円·%
	都道府県名	岐	阜県	市町	村類型	п.	- 1	指定団体等	の指定状況	歳入総額		5, 045, 422	4, 198, 433	実質収支比率		8. 5	7. 9
								財政健全化等	×	歳出総額		4, 780, 884	3, 958, 572	経常収支比率		90. 5	94. 6
								財源超過	×	歳入歳出	差引	264, 538	239, 861	(※1)		(94.8)	(98. 9)
	市町村名	関ク	ケ原町	地方交	付税種地	. 2	-3	首都	×	翌年度に	繰越すべき財源	19, 739	20, 138	標準財政規模		2, 888, 783	2, 787, 006
								近畿	×	実質収支		244, 799	219, 723	財政力指数		0. 52	0. 52
		令和2年国調(人						中部	0	単年度収	支	25, 076	-15, 135	公債費負担比率		9. 7	10. 6
	人口	平成27年国調(産	業構造 (※5)		過疎	×	積立金		10, 119	10, 090	健全化判断比率			
		增減率 (%)	-10. 9			ı		山振	0	繰上償還:		0	0	実質赤字比率		-	-
		令03.01.01(人		[2	区分	平成27年国調		低開発	×	積立金取		0	50, 000	連結実質赤字比率		-	-
		うち日本人(第	[1次	171	154	指数表選定	0	実質単年	雙収支	35, 195	-55, 045	実質公債費比率		11.0	11. 1
住日	民基本台帳人口 (※7)	令02.01.01(人		-		4. 8	3. 9			44 M D L 76 -	to 7 AF	4 040 055	1 001 010	将来負担比率		51.7	46. 6
	(2017)	うち日本人((人) 6,837	第	52次	1, 485 41, 8	1, 612 41. 2			基準財政		1, 219, 955	1, 261, 243	資金不足比率 (※4)			
		増減率 (%)		+-		1, 900	2, 148			基準財政		2, 416, 355 1, 561, 763	2, 307, 163 1, 623, 786				
	面積(km³)	7.5日本人(49. 28	第	第3次	53. 4	54. 9	 	-	-	へ 韻 寺 充当一般財源等	2, 577, 698	2, 568, 379				
	国領 (KIII) 1密度 (人/km²)		134	1		30. 4	54. 9			歳入一般		3, 621, 190	3, 271, 989				
	古及 (大/KIII) 帯数 (世帯)		2, 507	1						- MAX.	ng man ng	3, 021, 100	3, 2, 1, 303	1			
		1	-,	職員	の状況			1	l .	1							
			1人 あたり 平均				職員数	給料月額	1人あたり平均								
	区分	定数	1人あたり平均 給料月額(百円)	— 般		区分	(人)	(百円)	給料月額(百円)	地方債現	在高	3, 770, 607	3, 933, 779	1			
	市区町村長	1	5, 500	職	一般職員	Ą	77	230, 461	2, 993	うち公り	的資金	3, 269, 688	3, 355, 966				
特	副市区町村長	1	5, 000	員等	うちぇ	肖防職員	-	-		債務負担?	行為額 (支出予定額)	30, 749	44, 231				
別職	教育長	1	4, 400	_	うち打	技能労務職員	1	*	2	* 収益事業」	以入	-	-				
等	議会議長	1	2, 050	* 6	教育公科		-	-		土地開発	基金現在高	-	-				
	議会副議長	1	1, 680	Ü	臨時職員	Ę.	-	-		- 積立金	財政調整基金	307, 961	297, 842				
	議会議員	6	1, 600		合計		77	230, 461	2, 993	現在高	減債基金	248, 449	328, 318				
				-	ラスパイし	レス指数	L		91. 7	ļ	その他特定目的基金	585, 509	582, 745				
一般 項番	会計等の一覧	会計名	事業 項番	会計の- 	一覧	会計名		公営企業 (法適 項番	の一覧 会計名		公営企業(法非適)の一 項番 会	·覧 計名	関係する一部事務 項番	組合等一覧 組合等名	地方公社・第 項番	ミニセクター等一覧 団体名	(*3)
(1)	一般会計		(2)	後期高齢	命者医療特別	会計		(7) 水道事業会計	+		(8) 今須農業集落排水事業	特別会計	(10) 大垣衛生施設組	le le			
			(3)	国民健康	聚保険特別会	会計 (事業勘定)					(9) 公共下水道事業特別会	B†	(11) 南濃衛生施設和	用事務組合			
			(4)	国民健康	表保険特別会	会計(直診勘定)							(12) 岐阜県市町村会	館組合			
			(5)	介護保険	食特別会計								(13) 岐阜県市町村鵈	員退職手当組合			
			(6)	介護サー	-ビス事業特	寺別会計							(14) 不破消防組合				
													(15) 西南濃老人福祉	施設事務組合			
													(16) 西南濃粗大廃棄	物処理組合			
													(17) 岐阜県後期高齢	者医療広域連合(一般会計)			
													(18) 岐阜県後期高齢	者医療広域連合(特別会計)			

⁽注釈) ※1:経常収支比率の()内の数値は、令和元年度は「減収補換債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を、令和2年度は「減収補塡債(特例分)」「猶予特例債」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。 ※2:各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。 ※3:地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に〇印を付与している。 ※4:資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。 ※5:産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。 ※6:個人情報保護の親点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(一)としている)。 ※7:人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の	状況 (単位 千円				地フ	方税の∜	状況 (単位 千円・	%)		
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分		収入済額	構成比	超過課利	分
地方税	1, 260, 088	25. 0	1, 260, 088		普通税		1, 260, 088	100.0		_
地方譲与税	46, 714	0.9	46, 714	1.7	法定普通税		1, 260, 088	100.0		-
利子割交付金	977	0.0	977	0.0	市町村民税		400, 552	31.8		-
配当割交付金	3, 683	0. 1	3, 683	0. 1	個人均等割		12, 583	1.0		-
株式等譲渡所得割交付金	4, 289	0. 1	4, 289	0. 2	所得割		320, 970	25. 5		-
分離課税所得割交付金	-	-	-	-	法人均等割		19, 154	1.5		-
地方消費税交付金	164, 307	3. 3	164, 307	6.0	法人税割		47, 845	3.8		-
ゴルフ場利用税交付金	5, 530	0. 1	5, 530	0. 2	固定資産税		801, 247	63.6		-
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	うち純固定資産税		801, 241	63.6		-
自動車取得税交付金	-	-	-	-	軽自動車税		22, 884	1.8		-
軽油引取税交付金	-	-	-	-	市町村たばこ税		35, 405	2. 8		-
自動車税環境性能割交付金	3, 462	0. 1	3, 462	0. 1	鉱産税		-	-		-
法人事業税交付金	12, 402	0. 2	12, 402	0.5	特別土地保有税		-	-		-
地方特例交付金	4, 783	0.1	4, 783	0. 2	法定外普通税		-	-		-
個人住民税減収補塡特例交付金	2, 240	0.0	2, 240	0. 1	目的税		-	-		-
自動車税減収補塡特例交付金	1, 792	0.0	1, 792	0. 1	法定目的税		-	-		-
軽自動車税減収補塡特例交付金	751	0.0	751	0.0	入湯税		-	-		-
地方交付税	1, 331, 039	26. 4	1, 195, 166	44. 0	事業所税		-	-		-
普通交付税	1, 195, 166	23. 7	1, 195, 166	44. 0	都市計画税		-	-		-
特別交付税	135, 873	2. 7	-	-	水利地益税等		-	-		-
震災復興特別交付税	-	-	-	-	法定外目的税		-	-		-
(一般財源計)	2, 837, 274	56. 2	2, 701, 401	99.4	旧法による税		-	-		-
交通安全対策特別交付金	782	0.0	782	0.0	合計		1, 260, 088	100.0		-
分担金・負担金	7, 998	0. 2	-	-						
使用料	56, 475	1.1	8, 289	0.3						
手数料	11, 617	0. 2	_	-	区分		令和2年度		令和元年	度
国庫支出金	1, 162, 162	23. 0	-	-	徴収率 現 合計		98. 9	96. 3	99. 3	96. 9
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-			99. 2	96. 9	99. 2	97. 2
都道府県支出金	276, 176	5. 5	-	-	(%) 年 純固定資産利	兑	98. 7	96. 1	99. 4	96.8
財産収入	2, 610	0.1	1, 579	0. 1			•			
寄附金	94, 615	1.9	-	-	公営事業等への繰出		国民健康	隶保険事業	会計の状況	
繰入金	155, 109	3. 1	5, 863	0. 2	승計 89	93, 517	実質収支			52, 282
繰越金	239, 861	4. 8	_	-	下水道 26	30, 388	再差引収支			43, 391
諸収入	33, 743	0.7	5	0.0	上水道 4	11, 422	加入世帯数(世帯))		1, 045
地方債	167, 000	3. 3	-	-	工業用水道	-	被保険者数(人)			1, 654
うち減収補塡債(特例分)	-	-	-	-	交通	-		€税(料)収.	入額	94
うち猶予特例債	-	-	-	-		26, 691		支出金		1
うち臨時財政対策債	130, 000	2. 6	-	-	その他 26	55, 016	1人当り 保険	給付費		333
歳入合計	5, 045, 422	100.0	2, 717, 919	100.0	'				•	

(汪粎)	
- total	17

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

			位 千円・%)			
	目的別歳		(単位 千円・%)			
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建		(A)のうち弁	
議会費	53, 195	1. 1		6, 809		53, 195
総務費	1, 278, 514	26. 7		7, 740		475, 330
民生費	916, 699	19. 2		7, 607		638, 393
衛生費	630, 539	13. 2		9, 736		601, 153
労働費	4, 407	0. 1		-		407
農林水産業費	146, 628	3. 1		48, 099		103, 839
商工費	245, 442	5. 1		15, 956		197, 576
土木費	432, 295	9. 0		91, 895		374, 979
消防費	160, 562	3. 4		-		157, 773
教育費	560, 448	11. 7		180, 203		401, 852
災害復旧費	-	-		-		-
公債費	352, 155	7. 4		-		352, 155
諸支出金	-	-		-		-
前年度繰上充用金	-	-		-		-
歳出合計	4, 780, 884	100. 0		368, 045		3, 356, 652
	性質別歳	出の状況	(単位 千円・%)			
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充	当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	1, 452, 278	30. 4	1, 208, 364		1, 207, 036	42. 4
人件費	797, 374	16. 7	753, 040		751, 715	26. 4
うち職員給	473, 800	9. 9	444, 594		-	-
扶助費	302, 749	6.3	103, 169		103, 166	3. 6
公債費	352, 155	7.4	352, 155		352, 155	12. 4
元利償還金	352, 155	7.4	352, 155		352, 155	12. 4
内 うち元金	330, 172	6. 9	330, 172		330, 172	11.6
訳 うち利子	21, 983	0. 5	21, 983		21, 983	0.8
一時借入金利子	-	-	-		-	-
その他の経費	2, 960, 561	61.9	1, 972, 972		1, 370, 662	48. 1
物件費	704, 961	14. 7	573, 748		370, 347	13. 0
維持補修費	41, 614	0.9	28, 446		21, 678	0.8
補助費等	1, 275, 631	26. 7	552, 211		381, 452	13. 4
うち一部事務組合負担金	290, 771	6. 1	290, 204		278, 110	9.8
繰出金	852, 095	17. 8	792, 614		597, 185	21.0
積立金	82, 260	1.7	25, 953		-	-
投資・出資金・貸付金	4, 000	0.1	-		-	-
前年度繰上充用金	-	-	-			
投資的経費計	368, 045	7. 7	175, 316			
うち人件費	8, 528	0. 2	8, 528			
普通建設事業費	368, 045	7. 7	175, 316			
内しうち補助	64, 967	1.4	12, 265			
🔐 うち単独	278, 092	5. 8	158, 915			
火古後口争未复	-	-	-			
失業対策事業費	-	-	-			
歳出合計	4, 780, 884	100.0	3, 356, 652			

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率(市町村)

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等 からの 繰入金	地方債 現在高	備考	
1 一般会計	5,045	4,780	265	245	155	3,771	基金から149百万円輸入	ĺ
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								E
計 一般会計等(純計)	5,045	4,780	265	245		3,771		Г

※一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

八学企業会計等の財政共20(単位	

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 繰入見込額	資金不足 比率	備考
1 後期高齢者医療特別会計	127	122	5	5	26	-	-	-	
2 国民健康保険特別会計(事業勘定)	857	805	52	52	72	-	-	-	
3 国民健康保険特別会計(直診勘定)	735	723	12	12	269	730	262	-	基金から10百万円繰入
4 介護保険特別会計	911	809	102	102	135	-	-	-	
5 介護サービス事業特別会計	174	170	4	4	4	-	-	-	
6 水道事業会計	188	193	▲ 5	306	3	530	36	-	法適用企業
7 今須農業集落排水事業特別会計	66	66	0	0	49	532	532	-	休余徳号企業、基金から17百万円模入
8 公共下水道事業特別会計	423	420	3	3	233	1,920	1,920	-	法非適用企業
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34									
35									
# 公営企業会計等				483		3,712	2,750		

関係する一部事務組合等の財政状況(単位・百万円)

実質公債費比率 ((A)-((B)+(D)))/((C)-(D))×100

	一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 負担見込額	備考
1	大垣衛生施設組合	557	460	97	97	7	-	-	基金から7百万円積入
2	南濃衛生施設利用事務組合	1,807	1,664	143	143	-	1,088	100	
3	岐阜県市町村会館組合	73	69	4	4	-	-	-	
4	岐阜県市町村職員退職手当組合	7,622	7,593	29	29	790	-	-	基金から790百万円線入
5	不破消防組合	557	518	39	39	-	144	38	
6	西南濃老人福祉施設事務組合	116	72	44	44	23	-	-	基金から23百万円繰入
7	西南濃粗大廃棄物処理組合	547	519	28	28	-	10	0	
8	岐阜県後期高齢者医療広域連合(一般会計)	264	227	36	36	-	-	-	
9	岐阜県後期高齢者医療広域連合(特別会計)	261,826	245,795	16,031	16,031	-	-	-	
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
ät	一部事務組合等			/	16,451	/	1,243	138	

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

	「公社・第三セクター等の経営状況及び! 地方公社・第三セクター等名	経常損益		当該団体	当該団体	当該団体	当該団体からの情報保証に	当該団体からの損失が際に	一般会計等	
1	地力公任・第二セクダー等名	栓常損益	純資産又は 正味財産	当該団体 からの 出資金	当該団体 からの 補助金	当該団体 からの 貸付金	当該団体から の債務保証に 係る債務残高	当該団体から の損失補償に 係る債務残高	一般会計等 負担見込額	備考
2										
3						-				
5										
6 7										
8										
9										
10										
12										
13										
15										
16										
18										
19										
21										
22										
24										
25 26										
27										
28 29										
30										
31										
33										
34										
35										
37										
38										
40										
41 42										
43										
44 45										
46										
47 48										
49										
50 51										
52										
53 54										
55										
56 57										
58										
59 60										
61										
62 63										
64										
65 66										
67										
68 69										
70										
71										
72 73										
74										
75 76										
77										
78										
30										
B1										
B2 計 地	2方公社・第三セクター等									
	地方公共団体が①25%以上出資している	5法人又は②	財政支援を行	テっている法!	太記載 で	\ Z				

公債	費負担の状況					将来負担の	状況
	実質公債費比率 (千	円・%)					
	区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	分母比		
元利	償還金	356,842	345,315	352,155	14.2	将来負担額	一般:
減債	基金積立不足算定額	-	-	-	-		債務:
準	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-		公営:
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	284,594	276,414	265,361	10.7		組合等
利償	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	48,653	50,875	49,430	2.0		退職
還	債務負担行為に基づく支出額(公債費に準ずるもの)	-	-	-	-		設立
金	一時借入金の利子	-	-	-	-		うち、
	合計 (A)	690,089	672,604	666,946			連結
	内訳	平成30年度	令和元年度	令和2年度	分母比		組合
	PFI事業に係るもの	-	-	1	-		合計
	いわゆる五省協定等に係るもの	-	-	-	-	充当可能 財源等	充当
债	国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの	-	-	-	-	別源寺	充当
	地方公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	-		基準
負担	社会福祉法人の施設建設費に係るもの	-	-	-	-		合計
行	損失補償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	-	将来負担比	率((E
為	引き受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	-		
	その他上記に準ずるもの	-	-	-	-		
	利子補給に係るもの	-	-	-	-	健	全化半
特定	財源の額 (B)	-	-	-		実質	赤字片
標準	財政規模 (C)	2,776,261	2,787,006	2,888,783		連結	実質
算入	公債費等の額 (D)	412,150	411,340	410,404		実質	公债
	(C)-(D)	2,364,111	2,375,666	2,478,379		将来	負担

(単年度)

(3ヵ年平均)

11.0

10.4

11.0

49,430	2.0		退職手当負担
-	-		設立法人等の負
-	-		うち、健全化法施行
666,946			連結実質赤字額
02年度	分母比		組合等連結実質
-	-		合計
-	-	充当可能	充当可能基金
-	-	財源等	充当可能特定的
-	-		基準財政需要額
-	-		合計
-	-	将来負担比	率((E)-(F))/
-	-		
-	-		
-	-	健:	全化判断比率
-		実質	赤字比率
888,783		連結	実質赤字比率
410,404		実質	公債費比率
478,379		将来	負担比率

来負	担比率((E)-(F))/	((C)-(D)) × 100			39.0	46.6
	健全化判断比率	令和2年度	早期健全	化基準	財政	改再生基準
	実質赤字比率	-		15.00		20.00
	連結実質赤字比率	-		20.00		30.00
	実質公債費比率	11.0		25.0		35.0
	将来負担比率	51.7		350.0		

区分

債務負担行為に基づく支出予定額

設立法人等の負債額等負担見込額 うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額

組合等連結実質赤字額負担見込額

将来負担額 一般会計等に係る地方債の現在高

組合等負担等見込額

退職手当負担見込額

連結実質赤字額

充当可能特定歳入

基準財政需要額算入見込額

公営企業債等繰入見込額

152.1 PFI事業に係るもの いわゆる五省協定等に係るもの 国営土地改良事業に係るもの 国営工地の民事業に係るもの 地方公務員等共済組合に係るもの 負地方公務員等共海地は、 担佐頼土地の買い戻しに係るもの 社会福祉法人の施設建設費に係るもの 損失補償・債務保証の履行に係るもの 引き受けた債務の履行に係るもの その他上記に準ずるもの 公共下水道事業特別会計 2,134,494 2,048,535 1,920,139 今須農業集落排水事業特別会計 360,265 企業債等 編入見込額 国民健康保険特別会計(直診勘定) 163.5 265,495 254,311 261,949 水道事業会計 19,612 28,389 36,034 1.5

平成30年度 令和元年度 令和2年度 分母比

将来負担比率 (千円・%)

内訳

平成30年度 令和元年度 令和2年度 分母比

3,770,607

2,750,416

6,659,313

4,052,144

5,377,679

51.7

138,290

3,965,283 3,933,779

6,998,950 6,774,560

4,490,823 4,261,962

6,075,566 5,667,360

46.6

2,646,765

194,016

2,784,366

249,301

(E)

その他の会計 4,500 地方道路公社に係る将来負担額 土地開発公社に係る将来負担額 公社・ 三セク等 土地開発公社に係る将来負担額 地方独立行政法人に係る将来負担額 その他第三セクター等に係る将来負担額

(3)市町村財政比較分析表(普通会計決算)

令和2年度

岐阜県関ケ原町



● 当該団体値
● 類似団体内平均値

▼ 類似団体内の
■ 最大値及び最小値

※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※令和3年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。

※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。

※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和2年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



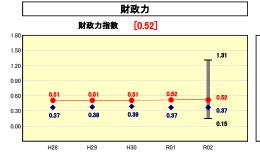
類似団体内順位 60/80

179.3

全国平均 24.9 枝阜県平均

将来負担比率の分析欄

類似団体平均を大きく上回っている。主な要因は、公共下水道事業や国民健康保険関ケ原診療所の地方債債還に対する一般会計からの繰出金が今後も多額に見込まれていることによる。病院事業から有床診療所に規模を縮小し、一般会計からの負担の軽減は図れたが、依然厳しい状況にある。引き続き、診療所の経営改善に努めるとともに、地方債の新規発行の抑制に努める。

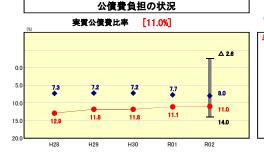


類似団体内順位 全国平均 岐阜県平均

財政力指数の分析機

類似団体内順位

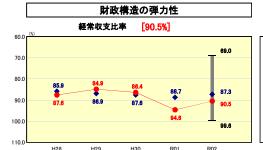
類似団体平均を上回っているものの、法人町民税が特定企業の業績に左右されるところが大きく、人口減少に加え、全国平均を上回る高齢化率により、町の衰退が懸念されており、町の活性化と自主財源の確保が今後の課題となっている。



類似団体内膜位 全国平均 岐阜県平均 66/80 5.7 4.7

実質公債費比率の分析機

類似団体平均が低い水準で推移する中で、平成20年度から連続して類似団体平 均を上回っている。病院事業の診療所化に伴い、数値は徐々に低下することが見 込まれているが、今後も比率の動向に注視し、新規地方債の発行抑制に努め、後 年度負担が過度にならないように努める。



57/80 93.1

法人町民税の大幅な減により、90.5%と類似団体平均を上回った。高齢化に伴う 社会保障費や公債費の増などにより、年々財政の硬直化が進んでいることから、 職員数、職員給与費の抑制等による人件費の削減のほか、全ての事務事業の 検・見直しを実施している。診療所の経営改善はもちろんのこと、今後も事務事 業の見直しを更に進めるとともに、全ての事務事業の優先度を点検し、優先度の 低い事務事業については、計画的に廃止・縮減を進め、経常経費の削減を図る。

89 B

全国平均



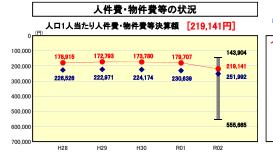
24/80 8.1

類似団体内順位

類似団体平均を下回る職員数となっている。新規採用の抑制により職員削減を 行っているところであるが、人口の減少に伴い横ばい状態である。業務の効率化、 見直しにより、より適正な人員管理に努める。

岐阜県平均

全国平均



類似団体内順位 全国平均 岐阜県平均 27/80 145,817 143,593

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析機

類似団体平均を下回っているが、システム関係経費や委託業務の増などにより 物件費は高い水準にあるため、引き続き事務事業の見直しとコストの縮減を図り、 経費の削減に努める。

給与水準 (国との比較)ラスパイレス指数 [91.7] 84.0 90.0 91.8 91.3 91.7 9

3/80 9

類似団体内順位

類似団体内では低い水準にある。職能や能力、実績が反映できる給与制度を構築し、給与の適正化に努める。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

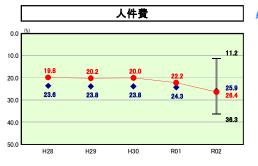
令和2年度

岐阜県関ケ原町

経常収支比率の分析

6,841 人(R3.1.1現在) 実 賞 赤 宇 比 率 人(R3.1.1現在) うち日本人 6.677 49. 28 km 11.0 実 質 公 債 費 比 率 5, 045, 422 入 千円 51.7 4, 780, 884 千円 出 H29 II-1 H30 II-1 244, 799 千円 R01 II-1 R02 II-1 2, 888, 783 千円 地方債現在高 3, 770, 607 千円

- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和2年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



類似団体内順位

全国平均 岐阜県平均

人件費の分析機

新規職員採用の抑制等により類似団体平均を下回って推移していた が、会計年度任用職員制度の開始により類似団体平均を上回った。今 後は、再任用職員、会計年度任用職員を含めた適正な定員管理等に基 づき人件費の抑制に努める。

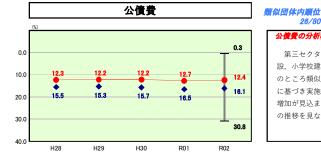


共助費の分析機

岐阜県平均 12.4

全国平均

福祉医療費助成金等の減少により類似団体平均を下回った。子ども、 高齢者、障害者等への福祉事業は見直しが困難な部分もあるが、時代 の変化に即応した柔軟な対応をし、財政圧迫とならないように努める。

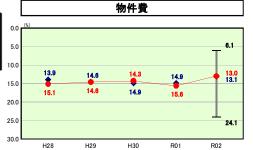


第三セクター等改革推進債を活用した土地開発公社の解散や庁舎建 設、小学校建設、中学校建設といった大規模事業等を行ったが、現在 のところ類似団体平均を下回っている。今後、公共施設個別施設計画 に基づき実施する公共施設の老朽化への対応が控えており、公債費の 増加が見込まれるが、後年度負担が過大にならないよう、地方債残高 の推移を見ながら計画的な借入に努める。

全国平均

16.3

岐阜県平均



類似团体内幅位 44/80

全国平均 143 岐阜県平均 15 A

物件費の分析機

公共施設の維持管理費や情報化に伴う機器保守、システムの維持管 理経費等が増加傾向にある。委託業務の内容や必要性を見直し、委託 料の削減に努めるとともに、事務経費のコスト縮減を図る。



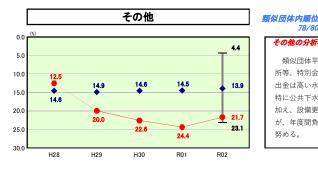
類似団体内順位

全国平均

岐阜県平均

補助費等の分析欄

平成29年度の病院事業の診療所化に伴い、類似団体平均と同水準ま で減少したが、衛生や消防関係の一部事務組合への負担が大きく、今 後も同水準以上で推移することが見込まれている。各種団体への補助 金の見直しや廃止等を検討し、支出の抑制に努める。



全国平均

岐阜県平均 13.6

その他の分析欄

類似団体平均を大きく上回っているのは、国民健康保険関ケ原診療 所等、特別会計への繰出金が多額であるためである。特別会計への繰 出金は高い水準で推移しており、今後の財政負担が懸念されている。 特に公共下水道事業については、これまでの整備に伴う起債の償還に 加え、設備更新等も順次行っており、大幅な削減が困難となってくる が、年度間負担の平準化を図るなど、上昇傾向に歯止めをかけるよう 努める.



類似団体内順位

全国平均

岐阜県平均 74.6

類似団体平均を上回っている要因として、人件費、繰出金が類似団 体平均を大きく上回っているためである。今後もより一層経費の削減 に努め、経常経費の抑制に努める。

当該団体値

◆ 類似団体内平均値

類似団体内の

■ 最大値及び最小値

145, 615

▲ 9.9

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

人件費及び人件費に準ずる費用の分析 人口1人当たり決算額の推移 ● 当該団体値 (円) 類似団体内平均値 300.000 類似団体内の 最大値及び最小値 246,751 250,000 200,000 142,011 145,615 150,000 133,280 134,610 132,676 131,163 131.474 120,159 100,000 115,004 106,842 95,836 50,000

H28

人件費及び人件費に準ずる費用 人口1人当たり決算額 類似団体平均(円) 当該団体決算額 (千円) 対比(%) 116, 558 人件費 797. 374 131, 552 **▲** 11.4 一部事務組合負担金 (補助費等) 114 394 16 722 15 222 9 9 公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等) 927 公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金) 5, 186 公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金) 30, 326 4, 433 **▲** 14.5 事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費) 8, 528 1, 247 3.097 **▲** 59. 7 **▲** 53, 333 897, 289 **▲** 7, 796 ▲ 10,369 **▲** 24.8

合計

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	11. 26	13. 36	▲ 2. 10
ラスパイレス指数	91. 7	95. 8	▲ 4.1

H29 (注)人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。

H30

R01

R02

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

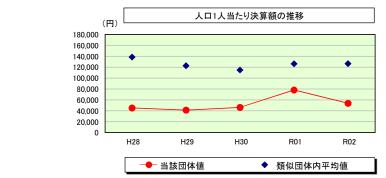


公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額	人口1人当たり決算額		
	(千円)	当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額	352, 155	51, 477	74, 764	▲ 31.1
(繰上償還額等を除く)	002, 100	01, 111	7.1,70.	_ •
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	=	=
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	-	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	265, 361	38, 790	25, 584	51. 6
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	49, 430	7, 226	3, 670	96. 9
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	=	=	420	=
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	=	9	-
▲特定財源の額	-	=	▲ 2, 239	-
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	4 10, 404	▲ 59, 992	▲ 71, 783	▲ 16.4
合計	256, 542	37, 501	30, 425	23. 3

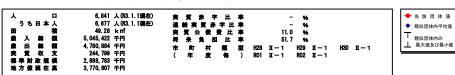
※令和3年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析

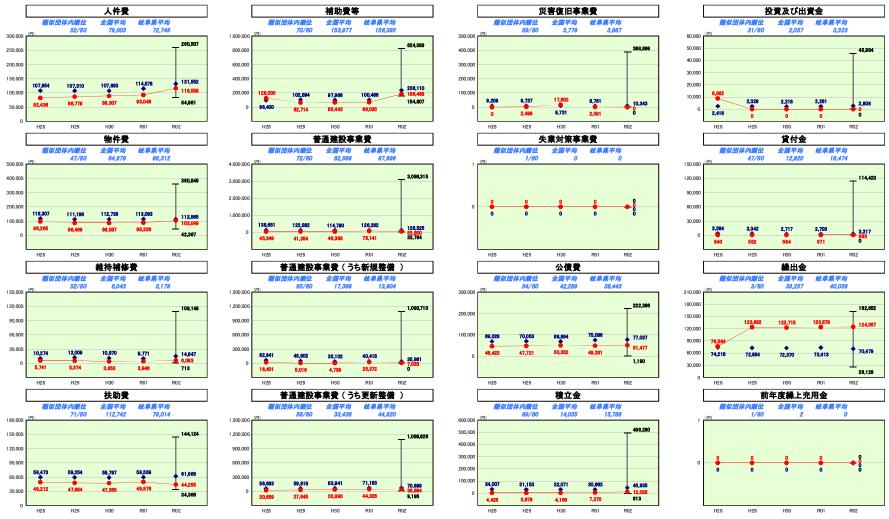


普通建設事業費

		当該団体決算額	人口1人当たり決算額					
		(千円)	当該団体(円)	増減率(%)(A)	類似団体平均(円)	増減率(%)(B)	(A) – (B)	
H28		335, 810	45, 349		138, 651	7. 8	▲ 34. 1	
	うち単独分	231, 353	31, 243		71, 211	15. 7	▲ 20. 1	
H29		299, 568	41, 354		122, 882	▲ 11.4	2. 6	
	うち単独分	196, 327	27, 102		65, 785	▲ 7.6	▲ 5. 7	
H30		328, 751	46, 388	12. 2	114, 790	▲ 6.6	18. 8	
	うち単独分	183, 797	25, 934	▲ 4.3	55, 601	▲ 15. 5	11. 2	
R01		546, 984	78, 141	68. 5	126, 262	10.0	58. 5	
	うち単独分	369, 558	52, 794	103. 6	56, 769	2. 1	101. 5	
R02		368, 045	53, 800		126, 525	0. 2	▲ 31.4	
	うち単独分	278, 092	40, 651		67, 052	18. 1	▲ 41.1	
過去5年間平均		375, 832	53, 006	2. 9	125, 822	0.0	2. 9	
	うち単独分	251, 825	35, 545	11.7	63, 284	2. 6	9. 1	

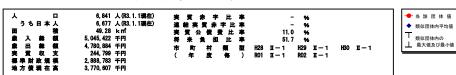


- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和2年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析欄

歳出次算総額は、住民一人当たり698,857円となっている。普通建設事業費は住民一人当たり53,800円となっており、類似団体と比較して一人当たりのコストが低い状況となっている。近年、経常経費の割合が増加傾向にあったことから、大型事業を除き、投資的経費の抑制を図っていたためである。今後、公共施設の別施設計画に基づく、公共施設の就廃合や更新、転用等を計画的に実施していく必要があるため、増加することが見込まれているが、事業の取捨選択を徹底し、事業費の抑制に努めていきたい。また、繰出金が住民一人当たり124,557円と高い水準になっているのは、国民健康保険関ケ原診療所をはじめとする特別会計への繰出金が多額であるためである。平成29年度の国民健康保険関ケ原病院の診療所化に伴い、町の財政負担の軽減が図れたが、依然、診療所に対する財政負担は大きく、健全な財政維持のために、より一層の経営改善に努めていく必要がある。



- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和2年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



目的別慮出の分析欄

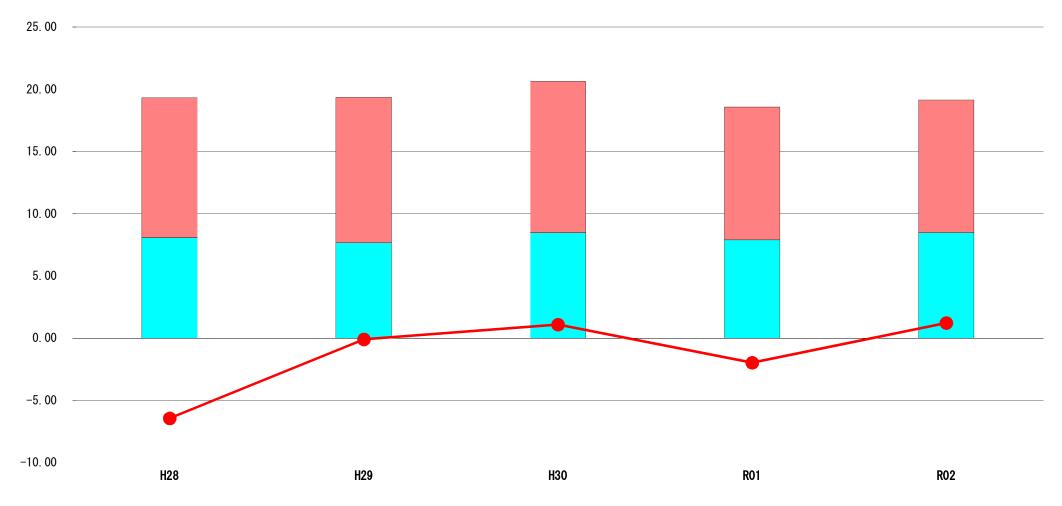
衛生費が住民一人当たり92.171円と類似団体平均を大きく上回っている要因は、国民健康保険関ケ原診療所に関する経費が多類なためである。平成20年度の国民健康保険関ケ原病院の診療所化に伴い、町の財政負担の軽減が図れたが、依然、多額の赤字補携が必要な状況にあり、大きな負担となっている。健全な財政維持のために、より一層の経営が高に努めていく必要がある。商工費が住民一人当を別が18.2878円と類似団体平均を上回っているのは、現在、関ケ原古教場の親光資源としての活用手法や、史跡の保存や整備についての取り組みの方向性をまとめた「関ケ原古教場グランドデザイン(中期整備計画)」に基づき順次事業を進めているためであるが、令和3年度以降は減少する見込みである。教育費が住民1人当たり81.925円と類似団体平均を上回ったのは、昨日で191き接き大型事業を実施した一遇性のものである。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析(市町村)

令和2年度

岐阜県関ケ原町

標準財政規模比(%)



標準財政規模比(%)

			=:		
区分	H28	H29	H30	R01	R02
財政調整基金残高	11. 23	11. 68	12. 17	10. 69	10. 66
実質収支額	8. 07	7. 66	8. 46	7. 88	8. 47
実質単年度収支	▲ 6.44	▲ 0.11	1. 09	▲ 1.98	1. 22

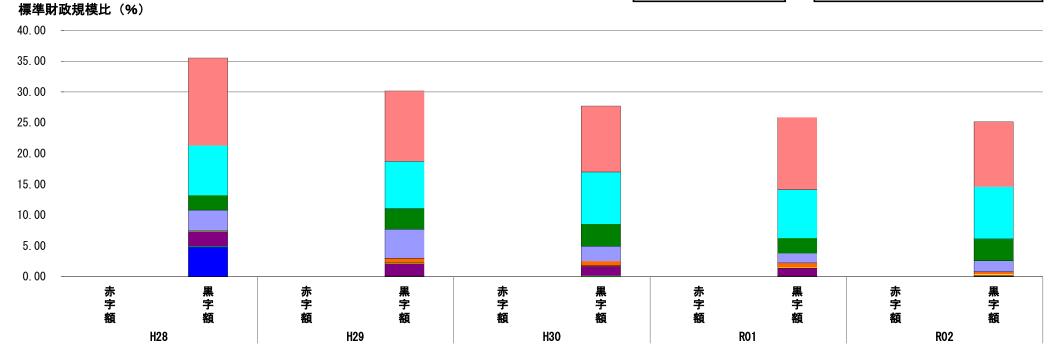
分析欄

土地開発公社の解散や税収減、公債費の増加等により財源不足を生じたことから財政調整基金の取崩しを行ってきたため、基金残高が平成24年度以降減少傾向にあったが、令和2年度は、普通交付税の増や歳出の精査により、取崩しを回避し、前年度とほぼ同額を維持している。今後の公共施設の老朽化への対応や人口減少等に伴う税収減に備える必要があることから、引き続き経常経費の抑制に努めるとともに、積極的な基金の積立てを行い、健全財政に努めていく必要がある。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析(市町村)

令和2年度

岐阜県関ケ原町



標準財政規模比(%)

年度 会計	H28	H29	H30	R01	R02
水道事業会計	14. 19	11. 42	10. 69	11. 72	10. 57
一般会計	8. 07	7. 65	8. 45	7. 88	8. 47
介護保険特別会計	2. 42	3. 38	3. 63	2. 48	3. 52
国民健康保険特別会計(事業勘定)	3. 37	4. 70	2. 41	1. 54	1. 80
国民健康保険特別会計(直診勘定)	_	0. 75	0. 75	0. 73	0. 40
後期高齢者医療特別会計	0. 12	0. 14	0. 05	0. 15	0. 16
介護サービス事業特別会計	2. 36	1. 99	1. 58	1. 25	0. 14
公共下水道事業特別会計	0. 12	0. 09	0. 13	0. 10	0. 10
その他会計(赤字)	-	-	-	-	_
その他会計(黒字)	4. 84	0. 02	0. 02	0. 01	0. 01

分析欄

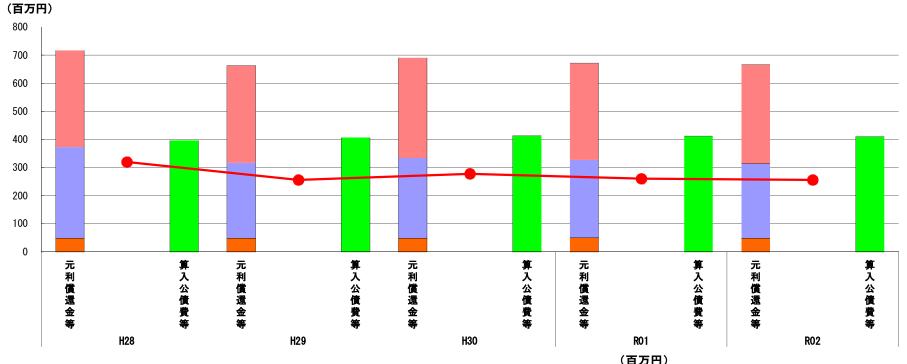
一般会計及び連結対象の各特別会計等においては、いずれも黒字決算で推移している。平成29年度より病院事業から規模を縮小した診療所事業(国民健康保険事業特別会計(直診勘定))や上下水道事業などの公営企業の経営健全化の推進に努め、今後の事業を見据えた計画的な財政運営をしていく必要がある。

※令和3年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(9) 実質公債費比率 (分子) の構造 (市町村)

令和2年度

岐阜県関ケ原町



						(11/2)
分子の構造	年度	H28	H29	H30	R01	R02
	元利償還金	344	346	357	345	352
	減債基金積立不足算定額※2	1	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-	-
元利償還金等(A)	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	324	268	285	276	265
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	49	49	49	51	49
	債務負担行為に基づく支出額	-	-	-	-	-
	一時借入金の利子	-	-	-	-	-
算入公債費等(B)	算入公債費等	397	407	413	412	410
(A) - (B)	━━ 実質公債費比率の分子	320	256	278	260	256

分析欄

元利償還金は年々増加していたが、平成26年度末に大口の償還が終了したことから一時的に減少したが、近年は臨時財政対策債等の据置期間終了による元金償還開始等に伴い増加傾向にあり、令和4年度にピークを迎える見込みである。今後についても、公共施設の老朽化への対応が必要となることから公債費の増が見込まれている。今後の起債発行については、実質公債費比率の動向に注視し、計画的な事業の執行と借入に努めていく必要がある。

※1 令和3年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考)						(百万円)
	年度	H27末	H28末	H29末	H30末	R01末
※2 減債基金	減債基金残高 (注)	-	1	-	ı	-
積立状況等	減債基金積立相当額	-	-	-	-	-

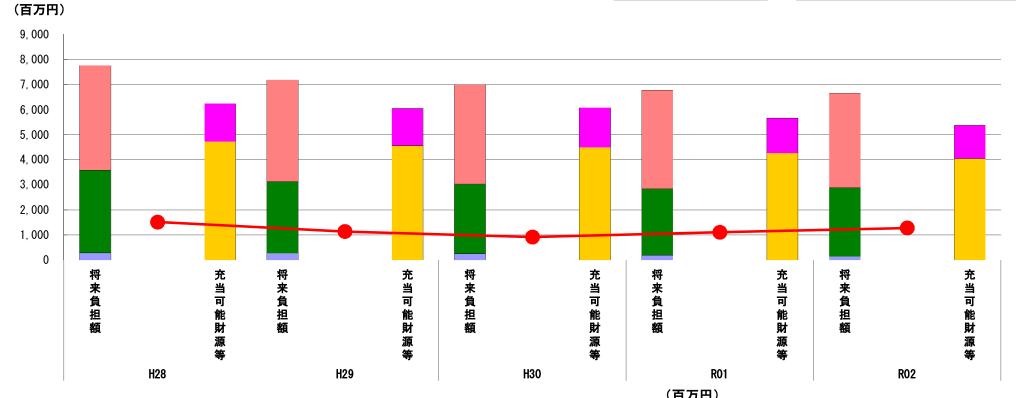
分析欄 該当なし

⁽注)減債基金残高のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源として積み立てた額に係るもののみを記入。 減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

(10) 将来負担比率 (分子) の構造 (市町村)

令和2年度

岐阜県関ケ原町



							(日万円)
分子の構造		年度	H28	H29	H30	R01	R02
	一般会計等に係る地方債の現	在高	4, 177	4, 052	3, 965	3, 934	3, 771
	債務負担行為に基づく支出予	定額	_	-	-	1	-
	公営企業債等繰入見込額		3, 297	2, 870	2, 784	2, 647	2, 750
	組合等負担等見込額		287	265	249	194	138
将来負担額(A)	退職手当負担見込額		_	-	-	1	-
	設立法人等の負債額等負担見	込額	_	-	-	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る	る負担見込額	_	-	-	1	-
	連結実質赤字額		_	-	-	1	-
	組合等連結実質赤字額負担見	込額	-	-	-	-	-
	充当可能基金		1, 521	1, 480	1, 585	1, 405	1, 326
充当可能財源等(B)	充当可能特定歳入		_	_	-	_	_
	基準財政需要額算入見込額		4, 724	4, 568	4, 491	4, 262	4, 052
(A) - (B)	将来負担比率の分子		1, 516	1, 139	923	1, 107	1, 282

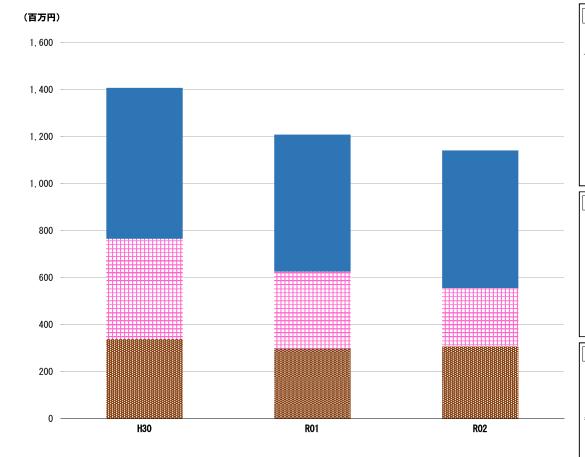
分析欄

一般会計等に係る地方債の現在高が減少したほか、一部事務組合等負担見込額が減少したが、目的事業への使用などによる充当可能基金の減少や基準財政需要額算入見込額が減少したため、将来負担比率の分子が増加した。

今後も厳しい財政状況が予想されるため、基金の取崩しは 慎重に行い、積極的な積立てと新規地方債の発行の抑制な ど、より一層努めていく必要がある。

※令和3年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。 12/13

(11) 基金残高(東日本大震災分を含む)に係る経年分析(市町村)



				(百万円)
区分	年度	H30	R01	R02
	財政調整基金	338	298	308
	減債基金	428	328	248
	その他特定目的基金	642	583	586
	廃棄物処理施設整備基金	292	292	292
	教育施設基金	228	138	108
	ふるさと応援基金	_	29	56
	社会福祉振興基金	50	50	50
	国道バイパス建設促進対策事業基金	46	46	46
	基金残高合計	1, 408	1, 209	1, 142

令和2年度

岐阜県関ケ原町

基金全体

(増減理由)

公債費の増加や法人町民税が大幅な減となったことに伴い、財源不足を生じたことから、減債基金の取崩しを行ったほか、目的事業への使用により、教育施設基金、ふるさと応援基金取崩しを行ったため、基金全体として67百万円の減となった。

(今後の方針)

今後も厳しい財政状況が見込まれることから、計画的な積立てを行い、健全財政維持に努める。

財政調整基金

(増減理由)

普通交付税が大幅な増となったことから、基金の取崩しを行わず、利息等の積立てを行ったため増加となった。

(今後の方針)

財政調整基金の残高は、標準財政規模の10%を目途に維持をしていく。

減債基金

(増減理由)

公債費の増加や法人町民税の大幅な減少に伴い、基金の取崩しを行ったため、80百万円の減となった。

(今後の方針)

週疎地域からの自立に向けた施策の推進により、公債費の増加が見込まれていることから、将来の償還計画を踏まえ、計画的な積立てを実施し、標準財政規模の10% を目途に維持をしていく。

その他特定目的基金

(基金の使途)

教育施設基金:教育施設充実のための基金

国道バイバス建設促進対策事業基金:本町内に計画中の国道21号関ケ原バイバスの建設を促進するための諸事業の円滑な実施をはかるための基金

社会福祉振興基金:社会福祉振興のための基金 教育振興基金:教育振興のための基金

ふるさと農村活性化対策基金:土地改良施設等の利活用に係る集落共同活動を支援し、農村の活性化を図るための基金

廃棄物処理施設整備基金:廃棄物の処理施設整備等の関連事業に要する経費に充てるための基金

ぶるさと応援基金:関ケ原町のまちづくりを応援する個人又は団体等からの寄附金を財源とした活力あるまちづくりを進めていくための基金 森林環境譲与税基金:関ケ原町における間伐や人材育成、担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進を図るための基金

(増減理由)

教育施設基金:定額分及び基金利息の積立てを行ったが、目的事業への充当により減少した。

国道バイパス建設促進対策事業基金、廃棄物処理施設整備基金:基金利息の積立てにより増加となった。

社会福祉基金:寄附金及び基金利息の積立てにより増加となった。 ふるさと応援基金:寄附金の積立てにより増加となった。

教育振興基金:寄附金の積立てにより増加となった。

(今後の方針)

教育施設基金: 将来の教育施設の設備更新、施設改修等に活用するため、毎年度10百万円以上の積立てを行う。